

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	久美学園 みどりっこ		
○保護者評価実施期間	令和6年11月28日		～ 令和6年12月17日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13名(11家族)	(回答者数) 12名(10家族)
○従業者評価実施期間	令和6年11月28日		～ 令和6年12月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年12月30日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別支援計画に基づき活動プログラムを行い、各個人に合わせた支援を行っている。	<ul style="list-style-type: none"> ・リーダー間での情報共有と活動プログラムの計画・実施。 ・一日、担当児童を決めて人間関係の構築、支援統一のための情報収集。 ・2カ月に1度のPT,OTの個別療育を行っている。 ・午前中は身体を動かす活動、午後は制作等落ち着いた活動にしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全職員での話し合いと活動プログラムの意見交換。 ・療育についての研修。 ・アセスメントの周知と強化。
2	幼稚園や保育所等の日課と同じような流れにしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・朝の支度の時間や活動時間・自由遊び等メリハリをつけている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・着替えの機会がないので、日常生活に必要な動きを取り入れていく。
3	情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・インスタグラムの活用。 ・連絡帳アプリコベルを活用し、掲示板・メッセージ等で細かい情報を伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・インスタグラムの投稿回数を増やす。 ・こちらからの情報発信のみなので、保護者からの情報発信ができるツールを増やす。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	安全計画の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・計画通りにできていない月がある。 ・全職員に計画の周知ができていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月、リーダーと相談し実施日を計画する。 ・計画の説明をする機会を設ける。
2	家族の交流、地域交流	<ul style="list-style-type: none"> ・曜日によって利用する児童が変わるため計画がしにくい。 ・職員の確保。 ・地域との交流のための準備ができていない。(各方面との連絡調整) 	<ul style="list-style-type: none"> ・月に1回から計画を立てていく。家族・地域交流のための土曜日開所を検討していく。 ・地域の幼稚園・保育園との連携をしていく。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		久美学園 みどりっこ						公表日	令和6年1月6日	
								利用児童数	令和6年12月末日(13名/11家族)	
								回収数	10	
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	9	1			広い園内で、いつものびのびと動けていると思います。園内も園庭もとても広くて活動しやすいそうです。	快適に活動ができるように今後とも環境整備をしていきます。		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	8	2			たくさんの先生で見て頂けて安心感があります。	安心してお子様を預かれる人数配置をしています。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	9	1			子どもたちの顔写真が貼ってあったり可視化されていてわかりやすい。	お子様たちが使いやすい環境を作り、導線等考えていきます。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	10				園内もとてもきれいで環境も整っていて安心安全にすごせている様子です。	これからも清潔で心地よく過ごせる環境を作っていきます。		
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	9			1	それぞれの性格に合わせて対応を変えて頂き助かっています。	日々の活動の中でお子様の特性を理解し支援していけるようにします。		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	9					プログラムと支援内容を保護者の方にわかりやすく発信していきます。		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	10				普段の子どもの様子をよく見て頂いて作成されていると思います。	個別支援計画について全職員が理解し支援できるように、会議等で話し合いをしています。		
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	10					家族の意見や今後の支援等具体的に提示していきます。		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	10					お子様の成長に合わせて計画を見直しながら支援をしていきます。		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	10				季節感あるプログラムが毎月用意されていて子どもたちも楽しそうです。	季節感やお子様の興味関心等を考慮しながら活動をしていきます。		
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	3	1	2	4	何か企画があればお知らせなどを連絡いただけたら嬉しいです。	近隣の幼稚園等と交流ができるようにしていきます。		
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	10					契約時に書類を読んでもらい不明な点や重要な点は説明をしています。		
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	10					お子様に合った児童発達支援計画を立てていきます。		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	4	2		4		家族が参加できるような研修会を計画していきます。		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	10				毎日の送迎の際に先生方とお話しできる時間があるので細かくお伝えし合っています。	連絡帳アプリや送迎の時にお子様の様子を共有していきます。		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	9			1		必ず個別支援計画説明のときに面談を行い話をしていきます。		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	10					活動内容を発信し共感的に支援してもらえるようにします。		
18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	1	2	5	参観や家族会などがもしあれば参加したいと思います。	家族等の交流する機会を計画します。参観や懇談会、イベント等家族が参加できるようにしていきます。			
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	9				1	全員に周知できるように工夫します。			

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	9			1		配慮していることを伝えていきます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	10				頻繁にSNSを更新して頂き活動内容などがとてもわかりやすいです。	SNSへの発信回数を増やしていきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	9	1				個人情報の取り扱いについて周知していきます。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	8	1		1		各マニュアルの提示、訓練の実施、報告していきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	6	2		2		非常災害についてお知らせしていきます。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	9			1		安全計画についてわかりやすく周知していきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	10				何かあると小さなことでもすぐにご連絡を頂けます。	お子様に何かしらの変化があればすぐに連絡をします。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	10				先生方に甘えて信頼している姿をよく目にします。	お子様が安心して通えるように、保護者の方と話をしながら環境を整えていきます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	9	1			毎日楽しく通い、帰宅後は何をしたのか嬉しそうに報告してくれます。毎回楽しみにしています。	お子様が楽しめる活動や環境を作っていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	10				優しく寄り添ってくれるような支援で大変満足しています。大満足です。	お子様にも保護者にも満足してもらえるよう、より良い支援を目指していきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		久美学園 みどりっこ					公表日	令和6年1月6日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	3	人数に合わせて机等の数を変えて対応している。	人数が多いと活動するスペースが狭く感じる。物・道具等の収納場所が必要。食事スペースの改善。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	1	マンツーマンで利用者の様子を見れる。	もう少し個別の対応ができるとよりよい支援ができる。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	3	子どもにわかりやすい。空間が広すぎる場合は間仕切りをしている。	環境上の配慮には工夫が必要。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	1	四季に合わせた作品等が飾られている。	床の掃き掃除。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	2	特定の場所があまりないため、利用児同士が空間をわけて過ごせるようにしている。			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	1	5	会議を行い、少しずつ全職員に情報が行き渡るようにしている。	非常勤の方の時間がとれないため、みんなが振り返りや話し合いに参加できない。職員同士で話し合う時間がなかなかとれない。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1	会議等で把握し改善すべき点は改善している。アンケートを配布した。できる範囲で伝えてくれているので改善につながっている。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1		職員間できちんとした話し合いはできていない。職員会議等で意見交換する機会があるが、全員出席できないので、出席できない職員との話し合いの機会が必要。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	2	法人職員の意見を聞いている。			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	オンライン研修を多く取り入れている。研修に参加できないときは、録画したものを後から見ている。			
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	2	順次作成している。			
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6	1				
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3	3	会議等で支援について話し合いをしている。			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	3				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	2				
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7					
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	2	リーダーを含めた職員で話し合いをしている。			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	2	変化を感じられるように部分的に変えている。リーダー間で話し合いをしている。			

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5	1	利用児に提供できるタイミングを見て、個別支援をしている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	1	5	その都度声をかけている。	職員全員で打ち合わせができていない。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	1	5	一人ひとりの記録を行い、見返すことができるようにしている。残っている職員で、その日の様子や気づきを伝えあっている。	その日のうちに支援に振り返りができていない。なかなか時間がとれない。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	1		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	1		
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	5	1		
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	5	公園等に行った時に挨拶をする、遊びを交えて関わるようにしている。		
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	送迎、連絡帳等を活用して子どもの状況を共有している。		
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0	6	その都度助言等の対応はしている。		
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0			
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0			
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6	0			
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0			

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	6		
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6	0	連絡帳アプリ、インスタグラム等で保護者へ発信している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0		
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	2	法人全体の行事に利用児の家族にも声をかけている。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	3		マニュアルの周知。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	1	5		定期的な訓練の実施。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	3	2		予防接種の確認。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	1		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	2		
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	2		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0		
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0			
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4	2		拘束する利用児がない。	